

ずっと先まで、明るくしたい。

この思いを実現し、
お客さまから信頼され、
選ばれ続ける会社を目指します。

九州電力株式会社 代表取締役社長 うり う みち あき 瓜生 道明



当社は、「ずっと先まで、明るくしたい。」をブランド・メッセージとする「九州電力の思い」のもと、責任あるエネルギー事業者として、安定した電力・エネルギーをお客さまにしっかりとお届けすることを使命に、事業活動を進めております。

こうした中、福島第一原子力発電所における深刻な事故を契機に、当社の全ての原子力発電所が停止し、依然として厳しい需給状況と収支・財務状況が続いております。

また、2016年には、電力システム改革に伴う小売全面自由化が予定されており、今後、本格的な競争時代を迎え、お客さまから信頼され、選ばれ続けるためには、グループ一体となった変革を加速させていかなければなりません。

九州電力の思い
ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日を子どもたちの未来に
つなげていきたい。
それが、私たち九州電力の思いです。

原子力発電への不安の声もある中、 安全・安心のためにどう取り組んでいきますか

エネルギー自給率の低いわが国では、特定の電源や燃料に偏らず、バランスのとれた電源構成が必要であると考えています。また、今後の世界のエネルギー消費量の増加を踏まえると、当面の安定供給だけでなく、将来も見据え、安全確保を大前提に、日本のエネルギー需給構造の安定性につながる原子力発電は不可欠と考えています。

経営トップとして、原子力発電の安全性向上が経営の最重要課題と思っています。そのため、国の新規制基準をしっかりと遵守するとともに、ハード(設備)とソフト(運用管理)の両面から、社外の知見やご意見も取り入れながら、自主的・継続的に安全性向上に取り組んでまいります。

また、地域の皆さまとのフェイス・トゥ・フェイスの対話活動を進め、原子力発電への疑問や不安の声を真摯にお聴きし、皆さまの安全・安心のために当社ができることを考え、実行してまいります。

グループ中期経営方針を発表しましたが、 今後、どのような方向に進むのですか

2030年において、「日本一のエネルギーサービス」を提供する企業グループとなり、皆さまから、「やっぱり!エネルギーは九電グループ」と思っていたいただけるよう、3つの戦略の柱を定めました。



九州電力グループ中期経営方針

□2030年のありたい姿

「日本一のエネルギーサービス」 を提供する企業グループ

～やっぱり!エネルギーは九電グループ～

□3つの戦略の柱

- I 九州のお客さまのエネルギーに関する
様々な思いにお応えする
- II 九電グループの強みを活かして、
成長市場で発展していく
- III 強固な事業基盤を築く

第一に、当社グループの基盤であるここ九州において、「電気をお届けする」会社から「エネルギーサービスを提供する」企業グループとなり、お客さまのエネルギーへのさまざまな思いにお応えし、地域・社会とともに発展していきます。

第二に、九州域外につきましては、首都圏での電源開発に取り組み、アジアを中心に海外にも力を入れていきます。再生可能エネルギー事業につきましては、安定供給や環境への影響に配慮し、地熱や水力を中心に国内外で積極的に展開していきます。

第三に、当社グループの事業基盤を強固にするため、安全・安心の追求や地球環境の保全、公正な事業運営を徹底するとともに、地域・社会の課題解決に貢献し、お客さまや地域・社会との信頼関係を築くCSR(企業の社会的責任)経営を徹底していきます。

全面自由化を目前に控え、 お客さまから選ばれるために大切なことは

これからの競争の中では、「将来に向け、当社がどう変わっていくべきか」について、お客さまのご期待や要請をしっかりとお聴きするコミュニケーションが大切であり、お客さまからいただいた声を事業運営に的確に反映していかなければなりません。

また、私たち自身も、経営環境の変化をチャンスと捉え、前向きにチャレンジしていく姿勢も大切になります。

これらを実行していくことで、お客さまから信頼され、選ばれ続ける会社を目指してまいります。

当社は、皆さまとのコミュニケーションツールとして、2006年より「九州電力CSR報告書」を発行してきました。報告書を通じ、当社の取組みをお伝えするとともに、皆さまの声を事業運営に反映してまいります。

どうぞ忌憚のないご意見をお聴かせくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

2015年6月